



第19回常任理事会

日時 令和4年12月6日(火) 18:00～19:05
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶両監事
 (Web参加者) 青木常任理事、阿久津監事

(事務局：三瓶次長ほか13名)

協議事項

第1号 令和4年度会費減免の追加申請に関する件 (目黒常任理事)

道医会費の追加減免申請者は、一般減免1名・研修医減免6名の合計7名で免除額108,000円、日医会費の減免申請者も、一般減免1名・研修医減免6名の合計7名で免除額44,000円となる。以上の減免を了承し、12月10日(土)の理事会に諮り、来年3月の代議員会に諮ることと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座3件を承認することと決定。

第3号 第5回理事会 [12月10日(土)・Web併用] の議案に関する件 (目黒常任理事)

提出議案について了承。

第4号 その他

- (1) 令和5年度予算関係三役・担当部長会議に関する件 (事務局)
- (2) 令和5年1月行事予定に関する件 (事務局)

報告事項

1. 医業経営講習会 [9月30日(金)・釧路市] について (寺本常任理事)

医療総研株式会社・伊藤哲雄代表取締役社長を講師に迎え「インボイス制度の概略－医療機関への影響は－」をテーマに、釧路市医師会の協力のもと開催した。来年10月1日より開始するインボイス制度について、消費税の負担と納付の流れや課税事業者

と免税事業者の違いといった基礎的な解説をし、インボイス制度が実施された場合の医療機関の影響について講演があった。参加者は会員および事務担当者を含め14名であった。

2. 患者接遇に関する研修会 [11月11日(金)・北見市] について (寺本常任理事)

北海道医療勤務環境改善支援センターより小山田剛氏を講師に迎え「ホスピタリティと傾聴トレーニング」をテーマに、北見医師会の協力のもと開催した。実践形式のワークを交えた研修内容で、参加者は熱心に受講していた。参加者は25名であった。

3. 第30回日本慢性期医療学会 [11月17日(木)～18日(金)・京都府] について (藤原副会長)

医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院・橋本康子理事長を学会長に「COMMUNICATION FIRST～『指示』から『連携』へ、『指導』から『理解』へ～」をテーマに開催された。日本慢性期医療協会・武久洋三名誉会長より「これからの慢性期医療はこうなる」をテーマに基調講演、橋本学会長とSAMURAI代表でクリエイティブディレクターの佐藤可土和より「コミュニケーション・ファースト」をテーマに学会長対談が行われた。そのほか、慢性期医療に関する講演やシンポジウム・一般演題が行われ、参加者は約1,300名であった。今回は、来年10月19日～20日に大阪国際会議場で開催予定。

4. 地域医療確保特例水準等の評価と指定に関するセミナー [11月23日(水・祝)・Web併用] について (長谷部常任理事)

日本医師会(医療機関勤務環境評価センター)から「医療機関勤務環境評価センターの評価の流れと受審手続き」について、北海道から「特定労務管理対象機関の指定」について説明があり、質疑応答・意見交換が行われた。出席者は62名(会場6名、Web56名)で、今回は来年1月28日(土)に開催予定。

5. 病院管理研修会 [11月27日(日)・Web併用] について (笹本常任理事)

北海道病院協会との共催により、社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院・萩原直美副院長兼看護部長を講師に「タスクシフトによる病院内業務の改善方法～看護業務など院内業務の効率化と時間外労働の削減法」をテーマに講演があった。出席者は医師をはじめ、看護師等295名(会場23名、Web272名)であった。

6. 病院団体懇談会 [11月27日(日)・Web開催] について (笹本常任理事)

厚生労働省保険局保険課の原田朋弘課長より「医療DXの推進に向けた取組について－オンライン資格確認等システムを中心に－」をテーマに、具体的に推進すべき施策、医療機関・薬局におけるオンライン資格確認の導入状況等に関して情報提供があった。また、同日開催の病院管理研修会で講演いただ

いた萩原講師を交え、サイバー攻撃への対処、ベンダーの係わり、地域ネットワークのシステム更新等について、各団体と意見交換を行った。各病院団体からの参加は、12団体15名であった。

7. 自衛隊札幌病院災害対処訓練 [12月3日(土)] について(目黒常任理事)

札幌市直下型地震を想定し、被災者の受入後の初動、北海道DMATと連携して院内に開設した真駒内SCUでの活動、および重症者の転院搬送などの実践的な訓練を視察し、さらに陸上自衛隊が札幌・富士・熊本の各病院に配置しているCT診断車を見学した。見学者は、当会ほか、札幌市医師会、札幌医科大学、北海道庁など19名であった。

8. 勤務医部会全体会議 [12月4日(日)・Web併用] について(水谷常任理事)

前部会長の退任により、部会長に小樽市医師会・和田部会員が指名されたことを報告後、引き続き、日医の勤務医関連会議ならびに勤務医懇談会について報告した。その後、来年実施する「地域医療の現況調査」に関する協力を依頼した。また、長谷部常任理事(日医勤務医委員会委員)から「医師会の組織強化について」をテーマに話題提供があった後、活発な意見交換が行われた。出席者は42名(会場18名、Web24名)であった。

9. その他

(1) 会員数について(目黒常任理事)

令和4年12月1日現在の当会会員数は8,126名で、内訳はA会員2,357名、B1会員624名、B2会員4,593名、C1会員86名、C2会員128名、C3会員338名となった。なお、日医会員数は5,709名となっている。

第5回理事会

日時 令和4年12月10日(土) 16:00～17:00
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・菅田・高橋・寺本各常任理事、島田・滝山両理事、藤瀬・梶両監事、長瀬顧問
(Web参加者) 山科・長谷部両常任理事、今・恩村・沖、吉田・稲葉・柴田各理事、阿久津監事、本間議長、井門副議長、深澤参与
(事務局：本田事務局長ほか14名)

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 日医理事会報告(松家会長)

10月の理事会では、第92回社会保障審議会医療部会の件、第8回地域医療構想及び医師確保計画

に関するワーキンググループの件、第102回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボードの件等の報告、旅費規程及び海外旅費規程一部改定の件等について協議した。11月の理事会では、第2回医療法人の経営情報のデータベースの在り方に関する検討会の件、第157回社会保障審議会医療保険部会の件、第18回第8次医療計画等に関する検討会の件等の報告、第3回都道府県医師会会長会議開催の件等について協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

(2) 日医各委員会報告

1) 定款・諸規程検討委員会 [10月12日(水)・Web会議] について(藤原副会長)

委員長に神奈川県医師会・菊岡会長、副委員長に千葉県医師会・入江会長が指名され、会長諮問「常任理事の増員について」が示された。その後、常任理事の増員について検討し、業務量、人件費等の観点から4名増員する方向で答申を作成することとなった。今月開催の委員会で答申案をまとめ、来年3月開催の臨時代議員会に諮り、6月開催の定例代議員会で常任理事の選任・選出ができるよう進めていく予定。

2) 勤務医委員会 [10月13日(木)・Web会議] について(長谷部常任理事)

委員長に鳥取県医師会・渡辺会長、副委員長に東京都医師会・落合理事が指名され、会長諮問「医師会組織強化と勤務医」についてフリートークを行った。また、日医勤務医関係会議の開催状況や今後の日程等について報告があった。

3) 産業保健委員会 [10月13日(木)・Web会議] について(生駒常任理事)

委員長に北里大学・相澤好治名誉教授、副委員長に産業医科大学・堀江正知副学長と岡山県医師会・松山会長が指名され、会長諮問「認定産業医制度のあり方と新しい化学物質管理における産業医の役割」について検討することとした。日本医師会Web研修システムを活用した研修会と認定産業医制度のデジタル化および化学物質管理に係る専門家検討会について報告があり、項目ごとにフリーディスカッションが行われた。

4) 広報委員会 [10月20日(木)・Web会議] について(山科常任理事)

委員長に栃木県医師会・小沼副会長、副委員長に大阪府医師会・阪本副会長が指名された。その後、日本医師会の広報活動の現状について説明が行われ、今後の広報活動の強化に向けた検討課題(若手医師との連携や日医のイメージアップのための広報など)についてフリーディスカッションを行った。

**5) 医療関係者検討委員会 [10月28日(金)]
について(水谷常任理事)**

委員長に群馬県医師会・須藤会長、副委員長に佐賀県医師会・志田副会長が指名され、会長諮問「医師会立看護師等養成所を存続させるための方策」についてフリートーキングを行った。

**6) 有床診療所委員会 [11月9日(水)]
について(鈴木副会長)**

委員長に徳島県医師会・齋藤会長、副委員長に宮崎県医師会・河野会長が指名され、会長諮問「次期医療計画策定等を踏まえ、将来を見据えた有床診療所のあり方」についてフリートーキングを行った。なお、委員会の開催に先立ち、創設300周年の小石川養生所跡を日医担当役員および委員等で訪問した。

**7) 母子保健検討委員会 [11月9日(水)・
Web会議] について(寺本常任理事)**

委員長に熊本県医師会・福田会長、副委員長に帝京大学医学部小児科学講座・三牧正和主任教授が指名され、会長諮問「母子保健におけるメンタルヘルス、こころの問題～産婦人科・小児科視点から～」が示された。また、母子保健講習会を来年2月12日(日)に開催することが決定した。

**8) 医療IT委員会 [11月9日(水)] について
(橋本常任理事)**

委員長に石川県医師会・佐原理事、副委員長に熊本県医師会・金澤副会長が指名された。オンライン資格確認を中心に議論が進められ、日医では相談窓口を設置し、情報収集を進めていることが説明された。電子処方箋や、医師資格証の発行状況、セカンド電子証明書についても触れられた。会長諮問は「医療DXを適切に推進するための医師会の役割」であり、今後2年間にかけて議論を進めていく予定。

**9) 学校保健委員会 [11月30日(水)・Web会議]
について(荒木常任理事)**

委員長に広島県医師会・松村会長、副委員長に栃木県医師会・浅井副会長と日本学校保健会・弓倉整専務理事が指名され、会長諮問「地域に根差した医師の活動である学校医活動を推進させるための具体的な方策は何か」について意見交換を行ったほか、学校等における感染症対策の支援事業について情報提供があった。

**10) 救急災害医療対策委員会 [12月7日(水)・
Web会議] について(目黒常任理事)**

委員長に杏林大学医学部・高度救命救急センター長の山口教授、副委員長に東京都医師会・猪口副会長と小職が指名され、会長諮問「医師会による救急災害医療の実践」についてフリートーキングを行った。また、「地域包括ケアシステムにおける救急医療」「日本医師会ACLS

研修制度の検討」「JMATのあり方」「マッサージリング災害に備えた医療体制」について検討する4つのワーキンググループを設置することを決定し、小職は「地域包括ケアシステムにおける救急医療」の座長を務め、今後答申に向けて協議を行う予定である。

(3) その他

藤原副会長から、北海道国民健康保険団体連合会が実施する、心不全パンデミックを予防するための医療と介護の連携に関する実地研究について、協力を求めた。

4. 承認事項

**(1) 北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員
の推薦について(伊藤常任理事)**

任期満了に伴い、郡市医師会・専門医会から推薦された保険医代表40名の全委員を推薦することと決定。

**(2) 日本医師会会内委員会委員の推薦について
(目黒常任理事)**

日本医師会より委嘱依頼のあった外国人医療対策委員会委員に、伊藤常任理事を推薦することと決定。

5. 協議事項

第1号 グループ保険制度の改定に関する件

(寺本常任理事)

従来の三大疾病保障オプションに「7大疾病保障特約」「がん・上皮内新生物保障特約」等を付加することにより保障内容を充実し、幅広く会員のニーズに沿ったプランに改定することと決定。

第2号 令和4年度会費減免の追加申請に関する件

(目黒常任理事)

道医会費の追加減免申請者は、一般減免1名・研修医減免6名の合計7名で免除額108,000円、日医会費の減免申請者も、一般減免1名・研修医減免6名の合計7名で免除額44,000円となる。以上の減免を了承し、来年3月の代議員会に諮ることと決定。

**第3号 令和5年新年交礼会 [1月6日(金)]の
開催中止に関する件(目黒常任理事)**

新型コロナウイルス感染症が再拡大傾向にある状況から、明春の新年交礼会の開催による感染リスクが危惧されることを踏まえ、やむなく中止することと決定。

**第4号 北海道医師会職員給与規程等の一部改正に
関する件(目黒常任理事)**

国の人事院勧告に基づき、北海道人事委員会が勧告した道職員の令和4年度給与改定に準じて、当会職員も同様に適用することと決定。

第5号 理事提案事項

特になし。

第6号 その他

特になし。

6. 道総医協関連事項（鈴木副会長）

令和4年度第4回理事会（令和4年10月8日）報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉 会

第20回常任理事会

日 時 令和4年12月27日（火）18:00～19:03
場 所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事（事務局：本田事務局長ほか13名）

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

（目黒常任理事）

12月21日の持ち回りの審査委員会で指定可とされた勤務先変更による再申請者1名と施設変更による申請者1名を指定医師とすることを決定。

第2号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（生駒常任理事）

認定要件を満たした新規申請者12名と更新申請者55名を承認し、日医へ申請することと決定。

第3号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（三戸常任理事）

認定要件を満たした新規申請者10名と更新申請者7名を承認し、日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（高橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座12件を承認することと決定。

第5号 その他

(1) 1月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. 介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会について（菅田常任理事）

北海道からの受託事業として実施している本研修会を、根室・稚内・室蘭の3地域で現地開催したほか、札幌ではハイブリッド方式にて2回開催した。小職をはじめ当会担当役員が、介護保険制度における主治医意見書の記載例を解説し、北海道保健福祉部の医療参事より、同制度の概要と障害者総合支援法について説明を行った。出席した医師には、北海道から受講修了証が発行される。参加者は合計498名であった。なお、すべての会場にて北海道ヘルスケア・ロボット協会から提供いただいた介護用ロボットの紹介動画を映写した。

2. 第17回医療の質・安全学会学術集会 [11月26日（土）～27日（日）] について（長谷部常任理事）

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院・寺

井美峰子看護部長が大会長となり、神戸国際展示場2号館や神戸国際会議場において「現場から生まれる医療の質・安全の知～改善と変革へつなげるために～」をメインテーマに開催され、大会長講演、招待講演、教育講演、教育セミナー等が行われた。今回は来年11月25日（土）～26日（日）に、近畿大学病院安全管理部・辰巳陽一教授を大会長として、会場は今回と同じく神戸国際会議場において開催予定。

3. 第29回日本航空医療学会総会 [12月4日（日）・Web開催] について（目黒常任理事）

鳥取県立中央病院・小林誠人院長補佐／高次救急集中治療センター長が会長となり、「地域へ、そして次世代へ」をメインテーマにLive配信とオンデマンド配信により開催された。「情熱的病院前救急診療」と題する会長講演のほか、特別報告、パネルディスカッション、シンポジウム、一般演題等が行われ、参加者は460名であった。今回は、来年11月4日（土）に、社会医療法人孝仁会の齋藤孝次理事長が会長となり、釧路市観光国際交流センターにおいて開催予定。

4. 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 [12月8日（木）・Web会議] について

（長谷部常任理事）

日医医賠償保険の運営に関する経過報告、産科医療補償制度と医療紛争について報告があった後、都道府県医師会からの質問・要望に回答を行なった。参加者は147名であった。

5. 公明党北海道本部「政策懇談会」 [12月10日（土）] について（荒木常任理事）

松家会長ほか9名の役員が出席し、国民皆保険の堅持、かかりつけ医、救急医療体制の充実・確保、消費税・医業承継・事業税への対応、健康教育における外部講師の活用、新型コロナウイルス感染症への対応、医師の働き方改革、看護職員の確保など各医療政策について、公明党北海道本部に対して要望し、意見交換を行った。

6. 救急医療対策部会小委員会 [12月11日（日）] について（青木常任理事）

小職より当会主催の北海道小児救急医療地域研修会や今後予定している救急医療研修会等について報告したほか、目黒常任理事よりCOVID-19JMATの派遣状況や災害時医療救護活動マニュアル策定の進捗状況、奈良副部長からメディカルウイング事業の説明があった。その後、救急医療対策部会全体会議において取り上げる救急医療トピックスのテーマおよび講師について協議した。

7. 第1回北海道糖尿病対策推進会議 [12月13日（火）] について（三戸常任理事）

構成団体10団体から令和3年度事業報告ならびに令和4年度事業計画の説明があり、当会からは、医療関係者等スキルアップセミナーについて報告し

た。引き続き、北海道から糖尿病性腎症重症化予防事業に係る市長村取組状況調査について「取り組んでいる・今後取組予定」が174市町村、「取り組む予定なし」が5市町村だったと説明があった。取り組めない理由として、かかりつけ医や関係機関・医療機関との連携が取れないことやマンパワー不足が原因との報告があった後、意見交換が行われた。

8. AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム 成果発表シンポジウム2022 [12月17日（土）・Web併用] について（笹本常任理事）

内閣府が主管する「戦略的イノベーション創造プログラム」（SIP）で設定されたプログラムの成果発表シンポジウムが、内閣府、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の主催、日医の共催により、日本医師会館大講堂とWeb配信で、「患者さんにも医療従事者にもやさしい医療を」をテーマに開催された。内閣府・松尾泰樹科学技術・イノベーション推進事務局長、日医・松本会長および日本医学会・門田会長の挨拶後、開発事業者のサブグループによるプロジェクト成果発表があった。また、日医・角田副会長等課題関係者の挨拶後、各医療機関等サブグループからのプロジェクト成果発表があり、中村プログラムディレクター（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長）による発表のまとめが行われた。

9. 外部各委員会報告

(1) 第2回道南ドクターヘリ運航調整委員会 [12月8日（木）・Web会議] について

（目黒常任理事）

令和4年度道南ドクターヘリの上半期運航実績等の報告があった後、令和5年度の運航経費の予算（案）や搭乗看護師の要件改定（案）について協議を行った。また、8月から11月にかけて実施した市立函館病院屋上ヘリポート駐機の試験運航実績について、説明があった。

(2) 第3回北海道地域医療介護総合確保基金（介

護分）検討協議会 [12月16日（金）] について （藤原副会長）

令和4年度実施事業の中間評価および各圏域における地域包括ケアシステムの進捗状況が報告された後、令和5年度実施予定事業について説明があった。

(3) 第1回北海道衛生検査所精度管理専門委員会 [12月20日（火）] について（伊藤常任理事）

委員長に小職、副委員長に札幌医科大学附属病院検査部の浅沼副部長が互選された。委員の変更、昨年度の衛生検査所立入検査実施結果および改善状況等について報告が行われた後、令和4年度の実施計画（案）ならびに令和5年度の実施方針について協議を行った。

(4) 第1回北海道障がい者施策推進審議会 [12月20日（火）] について（藤原副会長）

第6期北海道障がい福祉計画の推進管理11項目について評価報告があった。また、検討してきた障がい者基本計画と障がい福祉計画の統合については、障がい者基本計画を1年間延期して福祉計画をベースに統合・一体的に策定する。

(5) 地域包括・在宅介護支援センター協議会第2回正副会長・幹事合同会議 [12月22日（木）] について（藤原副会長）

令和4年度事業実施状況について説明後、令和5年度全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会を北海道で初めて開催することの報告があった。

(6) 第2回指導が不適切である教員の認定等に関する意見聴取会 [12月23日（金）] について （荒木常任理事）

指導改善研修制度について説明後、研修対象教員の報告があり、小職、大学教授、臨床心理士、弁護士、北海道高等学校長協会、市町村教育委員会教育長、北海道PTA連合会から意見聴取が行われた。

